

宮坂大使のマーセラ・リバート セントクリストファー・ネービス総督への信任状捧呈

8月13日、宮坂大使は総督官邸にて、マーセラ・リバート、セントクリストファー・ネービス総督に信任状を捧呈しました。

会談の中で、宮坂大使は災害対策や経済協力を中心に日本とセントクリストファー・ネービスの外交関係を強化していく意向を述べ、また、今年2025年が、日本とセントクリストファー・ネービスの外交樹立40周年にあたることに触れ、両国が長期的で一層の強靱な友好的な関係を築くことを願うと述べました。

会議には、リン・ウィルキンズ副総督、ソニヤ・パリー名誉総領事、在セントクリストファー・ネービス日本大使館の三浦慕一等書記官、大使秘書のシェブリー・ブルームス職員が出席しました。



左から宮坂大使、マーセラ・リバート総督



左から三浦一等書記官、宮坂大使、マーセラ・リバート総督、ソニヤ・パリー名誉総領事、シェブリー・ブルームス職員